

東洋大学学術情報リポジトリ Toyo University Repository for Academic Resources

英語における「夢」の概念と比喻性 dreamlike と dreamy に関する比較

著者	有光 奈美
著者別名	Nami ARIMITSU
雑誌名	経営論集
号	88
ページ	69-83
発行年	2016-11
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00008401/



英語における「夢」の概念と比喩性

—dreamlike と dreamy に関する比較—

Metaphorical Nature of the Concept of “Dream” in English: Contrasting “Dreamlike” and “Dreamy”

有 光 奈 美

1. はじめに
2. 日常言語における「夢」の概念と比喩性
3. 英語の「夢」の概念が持つ現実性と非現実性
 - (1) “a dream” について
 - (2) “like a dream” について
4. 「夢のような」を表わす二つの形容詞
 - (1) “dreamlike” について
 - (2) “dreamy” について
5. 同一形態との比較と一般化の試み
 - (1) “-like” と “-y” の持つ比喩性に関する相違点
 - (2) “dreamlike” と “dreamy” の持つ比喩性に関する動機付け
6. おわりに

1. はじめに

英語の名詞でもあり動詞でもある “dream” は -like や -y といった接尾辞を伴って形容詞化する。これらの “dreamlike” と “dreamy” という形容詞は、共に「夢のような」と日本語では訳すことが可能なようであるが、全く同じ意味というわけではなく、使用の場面において住み分けが存在している。一見したところ殆ど同じではないかと思われるような “dreamlike” と “dreamy” の相違点とそれぞれの動機付けを指摘することがこの論文の目的である。

まず、夢とは何か、夢を見るときはどのようなことかを整理し、英語における「夢」の概念を基盤として、“dreamlike” と “dreamy” という二つの形容詞の比喩的な性質の相違点と意味基盤を明らかにすることを目指す。

2. 日常言語における「夢」の概念と比喩性

日本語における「夢」とは、デジタル大辞泉（2015）によれば以下のように定義されている。

1. 睡眠中に、あたかも現実の経験であるかのように感じる一連の観念や心像。視覚像として現れることが多いが、聴覚・味覚・触覚・運動感覚を伴うこともある。「怖いーを見る」「正（まさ）ー」

2. 将来実現させたいと思っている事柄。「政治家になるのが一だ」「少年のころの一がかなう」
3. 現実からはなれた空想や楽しい考え。「成功すれば億万長者も一ではない」「一多い少女」
4. 心の迷い。「彼は母の死で一からさめた」
5. はかないこと。たよりにならないこと。「一の世の中」「人生は一だ」

日常言語における「夢」の定義については、英語における“dream”でも殆ど違いがないように見える。Longman Dictionary of Contemporary English (2008) [以下 LDOCE] での定義をここに示す。

1. WHILE SLEEPING: a series of thoughts, images, and feelings that you experience when you asleep.
2. WISH: a wish to do, be or have something –used especially when this seems unlikely: Her dream is to make a movie.

このように日本語でも英語でも、実際に睡眠中に人間が見ると言われている夢という意味や、将来の目標や希望という意味や、非現実性を帯びた考えのことを指すようである。日本語においては「夢」が心の迷いやはかなさを表わすこともあるが、本論文では英語における「夢」の概念の持つ現実性と非現実性に焦点を当てていくこととする。

3. 英語の「夢」の概念が持つ現実性と非現実性

(1) “a dream” について

まず、目標の意味で用いる場合には、“a dream” は価値的に良いものとして捉えられている。ここでの「価値的に良い」とは、Horn (2005: 332-333) も用いている Cruse (1980) のいう *e-pos* and *e-neg* (*evaluatively positive* and *evaluatively negative*) としての意味合いである。価値的に悪いものとして捉える場合には、ひどい体験や恐ろしい経験を描写するために、「夢」ではなく「悪夢」の意味での “a nightmare day” (悪夢のようなひどい一日) のように “a nightmare” や “a bad dream” を選択する方が自然である。

“a dream” が価値的に良いものとして捉えられている裏付けとして、以下のような用例を挙げることができる。ここでは LDOCE を用いて「2. WISH: a wish to do, be or have something –used especially when this seems unlikely」の項目を掘り下げ、意味の観点から分類していく。

(理想)

- (1) Her latest boyfriend is an absolute dream.
- (2) Some performers are a dream to work with; others are not.
- (3) She's every adolescent schoolboy's dream.

- (4) I've finally found my dream house.
- (5) Win a dream holiday for two in San Francisco.
- (6) I have just met a man of my dreams!
- (7) Never in my wildest dreams had I thought I would go to Hollywood.
[LDOCE]

ここでは理想や完璧な素晴らしさといった要素が「夢」と結びついている。完璧さや非常に望ましいことを表現するために“a dream”を用いていることがわかる。理想や憧れといった肯定的価値と「夢」が結びついている。

また、LDOCE では“dream house/ home/ job etc.”といった表現が、“something that seems perfect to someone”といった肯定的価値の描写に用いられることが示されている。さらに、“the man/ woman/ dress/ place etc of your dreams”といった表現が、“the perfect man, woman etc”等の肯定的価値の描写に用いられることも示されている。“a man/ woman of my dreams”で「理想の男性」を指すだけでなく、“a dream man/ woman”（アルク英辞郎 Ver.146）という表現もある。

さらに、LDOCE では“beyond your wildest dreams”が、“better than anything you ever imagined or hoped for”といった肯定的価値の描写に用いられることも指摘されている。ここでは「夢」ということに肯定的な価値の現実性や現実味があると言って良いだろう。ただし、“not/ never in your wildest dreams”であれば、“used to emphasize that you think something is very strange or unlikely”という意味であるので、「夢にも～ということが起こると思っていなかった(しかし、～ということが思いがけず実現した)」と解釈され、ここでの「夢」は非現実性を基盤にした否定極性項目（Negative Polarity Items）としての強調の意味を帯びている。他に「目標」という意味の用例もある。

〈目標〉

- (8) Her dream is to make a movie.
- (9) Sheila had dreams of university.
- (10) I fulfilled a childhood dream when I became champion in June.
- (11) Marriage to her is a dream come true. [LDOCE]

ここでは、目指すものや目標として「夢」が用いられている。“be a dream come true”については、“if something is a dream come true, it happens after you have wanted it to happen for a long time”という意味であり、遠くにあった目標がとうとう手に入る状態になったという目標達成の意味で用いられていることがわかる。

〈非現実性〉

(12) If you think that all homeless people have it as easy as me, then you are living in dream world.

(13) I'm going to ask her to go out with me. 'In your dreams!' [LDOCE]

ここでの “be/ live in a dream world” は “to have ideas or hopes that are not correct or likely to happen” という意味であり、皮肉として否定的価値の文脈で用いられている。また、“In your dreams!” は口語として紹介されている。“used to say in a rude way that something is not likely to happen.” と書かれているように「そんなことはありえないよ」という否定の強調表現である。

“In your dreams!” という表現は、上記で見た “not/ never in your wildest dreams” が「夢にも～とは思わなかった（しかし、～ということが思いがけず実現した）」と解釈され、非現実性を基盤にした否定極性項目（Negative Polarity Items）としての強調の意味を帯びていたのと同様に、非現実性を基盤としており、既に “not/ never” の部分が省略されているとも考えられる。また、「夢の中でなら可能だろうが、現実世界では不可能だろう」という意味であるとも考えられる。なお、この表現は日本語の「わしの目の黒いうちは奴に家の敷居はまたがせない（“I will not allow him to enter my house as long as I live.” [研究社 新和英中辞典]）のように、「この目が黒いうちは決して～させない」（存命中は決して～させない、意）等とも関連している。英語では “over my dead body” が対応している。「夢」が非現実とつながっていることから強い否定性を表わすように、「死」は極限を表わすことから究極の否定的取引であり、強い否定性を表わしている。なお、色と意味の結びつきとしては、ここでの「黒」は生死の「生」を表わしているのに対して、「黒」が否定性を表わすことも広く知られている。たとえば、“blackmail” は「ゆすり、恐喝、脅迫、武力による脅し」という意味である。“blackmail someone into doing”（脅迫して～させる）という反社会的な不法行為の意味解釈の背景では、“black” が「悪」、「罪」の意味として用いられている。「スコットランド、イングランド北部の農民は地主に地代として銀貨で払った（white mail）が、海賊にも略奪免除として黒い牛を貢がされた（black mail）」（ランダムハウス英和大辞典）ことから、この略奪宥恕金という名目で海賊の頭目が強要した賦課金を語源に現在の「恐喝する、ゆする[動詞]、恐喝、ゆすり[名詞]」の用例が生まれたとのことである。

(2) “like a dream” について

次に、「夢」ではなく「夢のような」という表現になった場合、英語ではどのような表現と解釈がありえるのか、用例ごとに分析していく。「あたかも」「まるで」という意味が「夢」に加わって “like a dream”（あるいは “as if in a dream”）という表現になった場合、非現実性が生じるようである。そして、「現実とは思えないほど良い」「現実とは思えないほど悪い」といった非現実性を基盤とした甚だしい程度の表現につながっている場合があることもわかる。

〈あまりにも良いので非現実かと思う→現実とは思えないほど良い〉

(14) The plan worked like a dream. [LDOCE]

(15) My new car goes like a dream. [OALD]

この場合、“extremely well or effectively”という意味であり、肯定的価値の描写に用いられることが示されている。

〈あまりにも悪いので非現実かと思う→現実とは思えないほど悪い〉

(16) Seeing him again was like a bad dream. [LDOCE]

(17) In broad daylight the events of the night before seems like a bad dream. [OALD]

この場合、“so unpleasant that it seemed unreal” という意味であり、否定的価値の描写に用いられることが示されている。ただし、「現実とは思えないほど悪い」ことを描写する場合には、“bad dream” のように “bad” が必要となっている。あるいは、“nightmare” のように「悪夢」という語で否定的価値を表現する必要がある。一方で “good dream” と必ずしも言わなくて良いようであることから、上記の “like a dream” の用法は肯定的価値を持っていると言える。なお、“as if in a dream” は COCA で 57 件あり、やはり肯定的・否定的価値の両方を持ちうる。

4. 「夢のような」を表わす二つの形容詞

(1) “dreamlike” について

“dreamlike” と “dreamy” はそれぞれ「研究社新英和大辞典」(研究社)において、以下のように記されている。

dreamlike : (まるで) 夢のような、夢幻的な、(夢のように) おぼろげな

dreamy : 1. (人など) 夢見るような、幻想にふける : ~ eyes

2. 夢の多い、よく夢を見る : a ~ night

3. (場所・思い出など) 夢のような、捕えようのない、ぼんやりとした (vague) : ~ scene, recollections, etc.

4. (物事が) 夢を見させるような、心を鎮める、安らかな (soothing) : ~ music

5. (口語) 夢心地にさせる、かわいい、; 全くすばらしい (wonderful) : a ~ car, house

なお、「研究社新英和大辞典」には “dreamlike” と “dreamy” だけでなく、この二つの類義語である、“dreamful” [夢の多い、夢見がちな (dreamy)], “dreaming” [夢を見ている、夢うつつの (ような)、夢想的な、a quaint ~ village 古風な夢のような村] も示されている。これらの接辞、-ful, -ing を含めてのそれぞれの比

較も興味深いが、本研究では-like と -y の形の比較に焦点を絞ることとする。

このように“dreamlike”と“dreamy”には、「夢のような」と訳しうる点において通じる部分が存在しそうである。しかし、その用いられ方は異なっている。そして、どのような動機づけによって、この住み分けがされているかということ を以下で明らかにしていく。

まず、“dreamlike”について、各辞書での定義を比較する。

- (18) as if happening or appearing in a dream; = unreal: *The film had a dreamlike quality.* [LDOCE]
- (19) as if happening or appearing in a dream: *The film had a dreamlike quality.* [LAAD]
- (20) If you describe something as dreamlike, you mean it seems strange and unreal. *Her paintings have a naive, dreamlike quality.* [COBUILD]
- (21) as if existing or happening in a dream [OALD]

このように見ると、“dreamlike”は非現実性を基盤とした用例の域を出ていないことがわかる。おぼろげであったり、はっきりしなかったり、明瞭でないことを表わすときに用いられている。それも対象とする対象の性質を表わすことに留まっていることがわかる。人の性質を表現することはできていない。“dreamlike”は「雲のメタファー」に通じるものがある。雲の持つ代表的な性質の一つとして、空中にあって手が届かず、つかみどころがなく、視界がはっきりしないという点を意味基盤としている。以下は「アルク英辞郎 Ver.146」からの用例である。

- (22) a. have one's head in the clouds
空想にふけている【直訳】雲の中に頭を突っ込んでいる
- b. with one's head in the clouds
夢想的〔非現実的な考え方・足が地に着かない〕で
- c. with one's head stuck in the clouds
ボーッとして【直訳】雲の中に頭を突っ込んで
- d. get one's head out of the clouds
現実を直視する、現実的に物事を考える（アルク英辞郎 Ver.146）

雲は捉えどころがなく、霞んでいるという点から SEEING IS UNDESTANDING の逆のメタファー（「見えないこととはわからないことである」）に基づいている。また、UNKNOWN IS UP というメタファーにも根差している。この「雲のメタファー」については否定的価値評価があると言える。“dreamlike”については、肯定的・否定的価値評価は文脈依存であるということになりそうだが、いずれも不鮮明さに焦点が当てられていることがわかる。

(2) “dreamy” について

ここでは “dreamy” について各辞書での定義を比較する。“dreamlike” よりも “dreamy” は多様な用例が存在している。また、単におぼろげであることを表わすだけでなく、最終的には人の性質まで表すことができるという相違点を持っている。

- (23) 1. looking as though you are thinking about something pleasant rather than what is happening around you: *a dreamy smile*
 2. someone who is dreamy has a good imagination but is not very practical: *He was an artist, not particularly tidy, too dreamy to match her ways.*
 3. pleasant, peaceful, and relaxing: *The windows cast a dreamy light in the room.*
 4. INFORMAL very attractive and desirable: *a book of dreamy chocolate recipes* [LDOCE]
- (24) 1. pleasant, peaceful, and relaxing: *dreamy melodies*
 2. having a quality like a dream: *The photos have a dreamy look.*
 3. someone who is dreamy likes to imagine things: *a dreamy 14-year-old girl*
 4. OLD-FASHIONED, INFORMAL very attractive and desirable: *a dreamy new sports car* [LAAD]
- (25) 1. If you say that someone has a dreamy expression, you mean that they are not paying attention to things around them and look as if they are thinking about something pleasant. *His face assumed a sort of dreamy expression.*
 2. If you describe something as dreamy, you mean that you like it and that it seems gentle and soft, like something in a dream. *...dreamy shots of beautiful sunsets.* [COBUILD]
- (26) 1. looking as though you are thinking about other things and not paying attention to what is happening around you: *She had a dreamy look in her eyes.*
 2. (of a person or an idea) having a lot of imagination, but not very realistic: *Paul was dreamy and not very practical.*
 3. as if you are in a dream or asleep: *He moved in the dreamy way of a man in a state of shock.*
 4. (informal) pleasant and gentle; that makes you feel relaxed: *a slow, dreamy melody*
 5. (informal) beautiful; wonderful: *What's he like? I bet he's really dreamy.* [OALD]

注目する必要があるのは、単に「不鮮明な・おぼろげな」という意味だけではなく、人のことを描写することができるという点である。“dreamy”は“dreamlike”と異なり「夢見がちな人（少女）」というように人を描写することができる。つまり、「外からははっきりとは判別できず見えてはいないが、心の中で気持ちの良い夢のようなことを考えていると思われるような人」ということを表現できている。また、“dreamy”は「夢を見させるような、心を鎮める、安らかな（旋律・音楽）」や「（外見が）すてきな（男性）」のように、心地よい夢のような気持ちを与えてくれる対象についての肯定的価値評価としての口語的表現が可能なのである。ここで“dreamy”の持つ肯定的価値評価とは、「はっきりと目には見えないが心の中で思い浮かべるような何らかの肯定的価値を持つ素敵な内容」のことを指している。

5. 同一形態との比較と一般化の試み

(1) “-like”と“-y”の持つ比喩性に関する相違点

さらに、「夢」以外の他の名詞を取り上げて考えることができる。「夢」は抽象度が高く、指を指して対象を示したり、実体としてつかみどころがなかったりするものであるのに対して、例えば「クリーム」であれば実際に物体が存在している。日本語で「クリームみたいな、クリームのような」と言う場合、「花王石鹸ホワイト」という石鹸の広告として「クリームみたいな泡」（花王ホームページ）⁽¹⁾と書かれているのを見つけられるように、「クリームそのものではないのだが、クリームに近い何らかの性質（たとえば滑らかさ）を持っている何か」という意味を生み出すことができる。なお、日本語では「～のような」「～みたいな」「～らしい」「～っぽい」「～じみた」といった群を挙げることができるが、本論文ではこれらの日本語の事例に関する住み分けについては扱わないこととする。英語で“creamlike”と“creamy”については、以下のような用例を挙げることができる。

creamlike (COCA, 6 件)

- (27) a. Still she was beautiful—her chestnut hair cut at the line of her jaw, her creamlike skin—with a beauty that was not only decorative, but seemed to achieve, [...]
- b. [...] the corresponding open end for about a minute or until a small amount of white creamlike substance appears.
- c. [...] fat globules in water; butter has water drops in fat; beurre blanc exhibits creamlike structure—but more dense—of fat in water.
- d. [...] walls, once a sullen, sooty gray, are being scrubbed to a gleaming creamlike color, which is much more inviting. I had toured the apartments twice before [...]

creamy (COCA, 3620 件)

- (28) a. Some of the friends watched the creamy unfurl of a contrail in the

darkling sky [...]

- b. [...] powders and foams arranged beside brightly colored rectangles of food that could be crunchy or creamy, depending on how they were prepared.
- c. Honey, apricot; dark chocolate and smoke. Texture: Rich and creamy. Prime age: Ten to twenty years.

このように見てみると、どちらもモノについての性状を表わすことができているという点で共通している。しかし、驚くべきことに “cream-like” (COCA、6 件) に対して、“creamy” (COCA 3620 件) と圧倒的に多くの用例がヒットしており、現代アメリカ英語においては、“creamy” の用例が支配的であると言える。

また、「魚・fish」については、以下の結果を挙げることができる。

fishlike (COCA、41 件)

- (29) a. [...] but it will no doubt offer a dose of the same fishlike experience I had that day doing barrel rolls in Hawaii.
- b. The wider, low-slung grille gives it an unfortunate fishlike appearance. Regardless, we still kind of want one.
- c. The oddly fishlike lips spread up and out in a grin.
- d. There's something big and fishlike moving in me and opening me up.
- e. This fish shares the name “dolphin” with the familiar fishlike mammal related to whales.

fishy (COCA、605 件)

- (30) a. [...] my street, what with its unflushed gutters and the fishy odor rising from the turgid river at the bottom of the bluff.
- b. [...] there must be the pre-purchase check on aroma (bright and fresh, never fishy) and the grains (whole and shiny, never shriveled and not mashed together [...])
- c. If police smell something fishy in Styler's story, it's about to stink even more [...]
- d. I got them from the race promoter's website, and nothing in them looks fishy. Most folks aren't as good at that stuff as they think they are [...]
- e. Schuber said. “It was a little fishy.” Moore told them to check out of the hotel.
- f. And the left hand/right hand thing gives this whole thing away. This is fishy. It stinks. This is not a suicide.

「魚」もまた用例数において “fishlike” (COCA、41 件) に対して “fishy” (COCA

605 件) と -y の形について多くの用例がヒットしており、現代アメリカ英語においては、“fishy” の用例が支配的であると言える。“fishlike” は魚そのものに似ていることや、あるいは「冷淡さ」(アルク英辞郎 Ver.146) を表わすことがあるようだが、多様で主観的な心理判断というわけではないようである。一方、“fishy” は客観的な魚のような臭いなどを表わせるだけでなく、より広範に用いられうる主観的な判断である「うさんくささ、いんちきくささ、疑わしさ、怪しい気持ち」も表現することができている。

(2) “dreamlike” と “dreamy” の持つ比喩性に関する動機付け

「夢」に関する表現で興味深いのは、-like と -y が加わる形の形容詞の意味比較における「クリーム」や「魚」との相違点である。前のセクションで見たように「クリーム」については、-like も -y もモノを対象とした客観的性状の描写に留まっているようであった。とはいえ、「魚」については“fishlike” が客観的形狀や動作の類似性を主に表わせるのに対して、主観的価値判断も特に“fishy”において含まれ得るようであった。

では、「夢」については-like と -y が加わる形の形容詞の意味比較はどのような相違点が存在しているか、以下に具体事例を提示する。

dreamlike (COCA、414 件)

- (31) a. Her hugeness makes the whole situation seem more dreamlike.
“What do you want to do then?” she asks, [...]
- b. “Two of the gems of the Met installation are Mr. Shahn’s haunting, dreamlike 1940 painting “Death of a Miner,” which the museum bought in 1950 [...]
- c. “Music,” she said, in a languorous and dreamlike manner. “Music is a betrayer of secrets; it is more treacherous even [...]
- d. There’s an enigmatic, dreamlike quality to the whole installation, [...]
- e. Natacha, who paints dreamlike landscapes and portraits in the bright and colorful Haitian naf style, loves to read [...]
- f. A dreamlike feeling of lethargy came over me. Abby called the hospital, [...]
- g. [...] got the idea that tenacity is rewarded, but it feels like a murky, dreamlike memory
- h. “The impressive stagecraft - which includes dreamlike movies playing on a huge screen - is a welcome alternative to watching the band [...]
- i. It’s a scary place. It’s a dreamlike place. When you have this many people, [...]

“dreamy”について前述の「新英和大辞典」(研究社)にあった「dreamy: 1. (人など) 夢見るような、幻想にふける: ~ eyes、2. 夢の多い、よく夢を見る: a ~ night、3. (場所・思い出など) 夢のような、捕えようのない、ぼんやりとした (vague): ~ scene, recollections, etc.、4. (物事が) 夢を見させるような、心を鎮める、安らかな (soothing): ~ music、5. (口語) 夢心地にさせる、かわいい、; 全くすばらしい (wonderful): a ~ car, house」という分類に照らし、COCAの一部の事例についても以下のように大別できる。

dreamy (COCA、1321 件)

1. (人など) 夢見るような、幻想にふける: ~ eyes

- (32) a. Hard for me to believe too. Dreamy eyes.
 b. Tell me, he said, enjoying the dreamy look in her eyes [...]
 c. She paused for a minute, a dreamy look on her face. “We had a little thing going for a while [...]
 d. A dreamy, curious girl from South Dakota, who loved to explore the prairie and read [...]
 e. She’d always been, by their active, engaged standards, a dreamy child, so they were prepared for her bent to be chiefly literary and were [...]

2. 夢の多い、よく夢を見る: a ~ night

- (33) a. [...] snow fort or maybe the stage for a gigantic snowball fight, all in one dreamy night. Winter seemed magical for kids in New England, and I fell under [...]

3. (場所・思い出など) 夢のような、捕えようのない、ぼんやりとした (vague): ~ scene, recollections, etc.

- (34) a. that was when she had been in love, was when things had last seemed dreamy, nonsensical, was when she had last had high hopes, when she had [...]
 b. Outside, the scenery has gotten positively dreamy, with deeper slopes to the hills and valleys. The beige houses look as [...]

4. (物事が) 夢を見させるような、心を鎮める、安らかな (soothing): ~ music

- (35) a. You’ll get it right. Her tone took on a wandering, dreamy quality. “You won’t go Traveling, like your older brothers. [...]
 b. Flush with surf-influenced guitars and dreamy vocals, the album evoked oceanside sunsets and the cheery poetry of suburban routine.
 c. in this or that article she was writing, this or that dreamy passage from a German novel, this clouded sky outspread over the campus

or [...]

- d. who came from a well-to-do family, loved foxhunting and cricket, and wrote a dreamy kind of poetry.
- e. They also weave dreamy harmonies with shimmering synths as well as most modern shoegaze acts, but with a [...]

5. (口語) 夢心地にさせる、かわいい、; 全くすばらしい (wonderful) : a ~ car, house

- (36) a. [...] recommends products that conjure bronzed skin, a healthy flush, just-bitten lips, and dreamy beach waves. A tinted, moisturizer with SPF 30-plus will [...]
- b. [...] 163mg sodium; 94mg calcium. Adapted from Cooking Light --- CREAMY, DREAMY RICE PUDDING Yield: 6 to 9 servings 3 cups whole milk cup basmati, [...]
- c. [...] whose main story line centers on a driven corporate executive and the dreamy chef who loves her, has been a box office winner. But along with [...]
- d. the marriage of vanilla-flavored custard, vanilla wafers and banana is dreamy. But once the pudding cools, you can chill [...]
- e. the vehicle's high level of user satisfaction: New suspension technology that provides a dreamy (not sloppy) ride, yet lets the tall, 5,000-pound SUV take corners [...]
- f. [...] an ode to the sight of marble reflected on glittering waves, "soft and dreamy and beautiful." During our visit to the Ducal Palace and its Bridge of [...]

5 つ目の用例にある「夢心地にさせる、かわいい、; 全くすばらしい」という意味においては、ほとんど「夢」という元々の意味は希薄化して単に「理想的な」「すばらしい」という意味として用いられているとも考えられる。このように“dreamy”には存在しているこの 5 つ目の用例が存在していないと言う点が“dreamlike”の一つの大きな特徴である。また、前のセクションで扱った「魚」と照らすと「夢」についても、“dreamlike”がやはり客観的描写に留まるのに対して、“dreamy”が主観的価値判断を含みうるという点が共通している。しかし、「夢」と「魚」が異なるのは、夢とは人間の内的な活動とその内的産物であり、実体を持たないという点である。そのために、「夢」の持つ非現実性に焦点を当てることができるだけでなく、「憧れ、理想」の意味にも転じ、さらにはそうした肯定的要素を心に描いている際の人物描写にも用いることができるのである。また、用例数としても現代アメリカ英語においては“dreamlike”よりも“dreamy”の用例が多いということにも注目が必要である。より多くの事例で裏付けていく必要があるが、少なくとも今回扱った事例では、形容詞の形態と意味の関係として

-like よりも -y の方が強い主観性の反映があるといえる。

6. おわりに

本論文は “dreamy” と “dreamlike” を対照的に分析することによって、“dreamlike” は意味的にあまり拡張していない一方、“dreamy” は客観的意味だけでなく主観的価値評価を含めて幅広く用いることができているようであることを指摘した。最も特徴的であるのは、人間の性質を形容することができるのは “dreamy” の方だけであるという点である。このことはより一般的に、接尾辞 -like と -y の違いを示唆している可能性がある。つまり、接尾辞 -like と -y はどちらも名詞について形容詞を作ることができるが、その結果作られた形容詞の性質には、-like は客観的描写に留まる一方で、-y は客観的・主観的描写の双方に用いることができるという相違点が存在していると言えそうである。なお、三原（2004: 145-160）は英語における女性語について論じ、その中で、Lakoff（1975: 12）が great, terrific, cool, neat 等の形容詞が性別に関して中立的（男女とも使用できる）であるのに対して、adorable, charming, sweet, lovely, divine 等の形容詞の話し手（使用者）が女性に限定されることを指摘したことを踏まえ、これらの伝統的な女性語といわれてきた形容詞が、現代英語（アメリカ映画）の中でどのように使われているかを明らかにしている。語の選択場面には、社会的立場も重要な要因となっており、“dreamy” のように主観性を持つ形容詞も話し手（使用者）の性別や年齢が反映される可能性があると予測したが、COCA でのヒット数は性別については dreamy boy（6 件）、dreamy man（0 件）、dreamy girl（5 件）、dreamy woman（2 件）、年齢については dreamy child（5 件）、dreamy adult（0 件）であった。これらは限定用法であるため、叙述用法の場合にはより話し手（使用者）の性別や年齢が反映される可能性がある。また、dreamy eyes（30 件）、dreamy look（35 件）、dreamy face（2 件）というデータから、“dreamy” には主観性用法があるものの、「夢は見るもの」という視覚対象としての「夢」の特性も反映されていることを指摘できる。今後、“dream” に類する他の名詞でも類似の対照研究を行い、接尾辞 -like と -y の作る形容詞の性質の違いを指摘したい。また、類似的接辞である -ful, -ing 等を含めて比較し、形容詞の性質をより精緻に分類することについては、今後の課題とする。

【注】

- (1) 花王ホームページ（2016）. <http://www.kao.co.jp/white/>

【参考文献】

- 平岩加寿子（2011）. 「V-ing Adjectives in the Lexicon」『日本認知言語学会論文集』11, 144-152.
 三原 京（2004）. 「英語における女性語について」『近畿大学語学教育部紀要』4(1), 145-160.
 森田良行（1996）. 『意味分析の方法—理論と実践—』, ひつじ書房.
 尾谷昌則（2005）. 「接尾辞ポイのモダリティ化」『日本語用論学会第8回大会予稿集』, 85-88.
 山梨正明.（2000）. 『認知言語学原理』, くろしお出版.

- Croft, W. (1991). *Syntactic Categories and Grammatical Relations: the Cognitive Organization of Information*. Chicago: The University of Chicago Press.
- Croft, W. (2001). *Radical Construction Grammar: Syntactic Theory in Typological Perspective*. Oxford: Oxford University Press.
- Cruse, A. D. (1980). Antonyms and gradable complementaries. In D. Kastovsky Ed., *Perspektiven der Lexikalischen Semantik*, 14-25. Bonn: Bouvier Verlag.
- Dixon, R. M. W. (1977). Where have all the adjectives gone? In *Studies in Language* 1(1), 19-80, Amsterdam: John Benjamins.
- Dixon, R. M. W. (1991/2005). *A Semantic Approach to English Grammar*. Oxford: Oxford University Press.
- Grice, P. H. (1975). Logic and conversation. In Peter Cole and Jerry Morgan (Eds.) *Syntax and Semantics*, pp. 41-58, New York: Academic Press.
- Kövesces, Z. (2000). *Metaphor and Emotion*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kövesces, Z. (2002). *Metaphor: A Practical Introduction*. Oxford: Oxford University Press.
- Kövesces, Z. & Radden, G. (1998). Metonymy: Developing a cognitive linguistic view. *Cognitive Linguistics* 9 (1), 37-77.
- Lakoff, R. (1975). *Language and Woman's Place*. New York: Harper & Row.
- Lakoff, G. & Johnson, M. (1980). *Metaphors We Live By*. Chicago: The University of Chicago Press.
- Langacker, R. W. (1990). *Concept, Image and Symbol: The Cognitive Basis of Grammar*. 189-201. Berlin: Mouton de Gruyter.
- Langacker, R. W. (1993). Reference point constructions. *Cognitive Linguistics* 4. 1-38.
- Langacker, R. W. (2002). *Concept, Image, and Symbol: The Cognitive Basis of Grammar*. 2nd edition. Berlin: New York: Mouton de Gruyter.
- Ross, J. R. (1972). The category squish: endstation hauptwort. In P.M. Peranteau, J.N. Levi, & G. C. Phares Eds., *Papers from the Eighth Regional Meeting of the Chicago Linguistic Society*, 316-328.
- Traugott, E. C. & Dasher, R. B. (2002). *Regularity in Semantic Change*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Traugott, E. C. (2006). The semantic development of scalar focus modifiers. In Ans can Kemenade and Bettelou Los, Eds., *The Handbook of the History of English*, 335-359. Oxford: Blackwell.

【コーパス・辞書】

- Corpus of Contemporary American English [COCA]
- Collins COBUILD English Dictionary for Advanced Learners, 3rd edition. (2001). London: HarperCollins. [CEDAL3]
- Longman Advanced American Dictionary. (2000). Harlow: Pearson Education Limited. [LAAD]
- Longman Dictionary of Contemporary English. (2008). Harlow: Pearson Education Limited.

[LDOCE]

Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English, 7th edition. (2005). Oxford; New York: Oxford University Press. [OALD7]

Oxford Dictionary of English, 2nd edition. (2003). Oxford; New York: Oxford University Press. [OED2], OED Advanced search, (2015). Oxford University Press.

Comprehensive Grammar of the English Language, (1985). Longman.

『アルク英辞郎』 Ver.146 <http://www.alc.co.jp/>

『新英和中辞典』(第6版)(2002). 竹林 茂 [編集代表], 研究社.

『英語語源辞典』(1997). 寺澤芳雄 [編集主幹], 研究社.

『デジタル大辞泉』(2015). 松村 明 [監修], 池上秋彦・金田 弘・杉崎一雄・鈴木丹士郎・中嶋 尚・林 巨樹・飛田良文 [編集委員], 小学館.

(2016 年 9 月 2 日受理)